

5/2 桐生発 6:00=11:40 猿倉発 11:55——13:12 白馬尻下（杓子尾根末端）幕営

去年は天候が悪くて登れなかったのが、今年再度登ることにした。猿倉から林道沿いに歩き、白馬尻の下、杓子尾根の末端のちょっとした窪地、テントが張れる場所があり、そこに張る。取付きも近いし私達だけなので静か、のんびりできた。夜は満点の星。

5/3 出発 4:42——白馬尻 5:00——尾根上 6:00——P2237m7:16——P2495m8:45——

——稜線下 10:45——11:18 稜線——11:25 白馬岳——頂上宿舎 12:08——テント着 14:18

天気が良かったので、朝は冷え込み、雪が締まってアイゼンが良く効く。白馬尻から取付きまで行くと、トレースがついていて、先行パーティが登っているのが見える。アイゼンが効いて登りやすいが、ただひたすら雪の上を登るのは疲れる。途中雪の切れたところやブッシュの中を歩くところもあったが、雪が安定しているのでそれほど不安はなかった。上部の雪稜も細くはなっていたが、雪がしっかりとしていたので、一步一步確実に歩けば大丈夫だった。頂上の下までくると、先行パーティが稜線に抜け歓声を上げていた。ロープを出し、リーダーがトップに行く。1本ではならずにもう1本繋いで抜けることができた。稜線はものすごい風。頂上では写真だけ撮って、小屋まで下り風をよけて休んだ。雪渓を下りテントに戻った。

5/4 出発 6:40——猿倉 7:30=桐生

朝もゆっくりし下山した。温泉に入りと蕎麦を食べ満足だった。



2300m 付近から、白馬岳



稜線直下の雪壁



頂上で



サンサンパークから 白馬三山